



# ADRC Highlights Vol.110

## Asian Disaster Reduction Center Biweekly News

16 February 2005

### ➤ アジア防災センターが JICA モルディブ調査団に参加

2004年12月26日に発生したスマトラ沖大地震による大規模な津波がモルディブを襲いました。この津波による人的被害は次の通りです:死者81人、行方不明者26人、負傷者1,313人、避難者数29,577人(2004年12月26日付、モルディブ国政府発表)。総人口30万人にも満たない同国にとって、この人的被害は深刻な問題です。199の居住島のうち、53島が大規模に被災しました。特に、リゾート島の被害は観光産業に深刻な影響を及ぼしています。



マーレの護岸構造物

こうした状況の下、2005年1月26日から31日までの6日間、当センター主任研究員の栗田が、独立行政法人国際協力事業団(JICA)が派遣したモルディブ調査団に参加しました。調査団の目的は次の通りでした。

- (1)モルディブにおける津波被害の現状を把握すること
- (2)日本の今後の支援のためのニーズアセスメントを行うこと

調査団は、政府の各省庁や首都及び地方島の被災地を訪問調査しました。マーレ島では、日本のODA(政府開発援助)で建設された護岸構造物の調査を実施しました。同島の全周に巡らされた護岸構造物は、マーレの街を津波から守ったと報告されています。調査の結果、津波による損傷などは見られず、護岸構造物の健全性が確認されました。



ター環礁ヴィルフシ島の倒壊建物

ダール環礁のガメンドゥ島およびター環礁のヴィルフシ島の現地調査では、漁民達の住居の多くが倒壊している様子が見られました。これらの住居は漁民自身によってコーラル・ストーン(珊瑚が堆積してできた石)と焼き石膏(貝殻が原料)で建てられたため、津波に対しては脆弱です。一方、島の役場やモスク、学校などの公共建築物は、建築基準を遵守して建てられていることもあり、ほとんど被害を受けていませんでした。

モルディブ国は最も標高が高い所でも1.5mしかないので、常に高波に対する危険に曝されていると言われています。先般

のスマトラ沖地震による津波では、痕跡などから同国内において高さ2~3mの波が襲ったと見られています。今後の津波への対応策として、同国政府では「災害対策を考慮した島」開発計画を企画しています。護岸を施したこの島は、緊急避難用の人工高台や複数階の公的建物などの安全区域を有しています。将来は、ガメンドゥ島のような津波に脆弱な島の島民を、この安全な島に移住させる計画を策定する予定です。また、この計画に対する国際的な支援も期待されることとなるでしょう。

なお、この件についてのお問合せは、主任研究員の栗田(kurita@adrc.or.jp)までお問い合わせください。

### ➤ 「総合的な防災政策 防災優良事例集」が当センターのHPにて公開

アジア防災センター(ADRC)では、国連人道問題調整事務所(UN/OCHA)神戸との共同で、総合的な防災政策(TDRM)アプローチについて開発・普及してまいりましたが、先月の国連防災世界会議の開催を機に、TDRMの概念説明及びアジアを中心とした各国の防災優良事例を取りまとめた冊子を発行しました。

この冊子では、バングラデシュ政府主導のサイクロン予防計画(CPP)による早期警戒活動他、約30の防災優良事例を紹介しておりますが、何れも戦略的・効率的な防災政策の基本概念である「総合的な防災政策 - TDRM -」の実践例であり、他国でも応用できるものとなっています。

現在この防災優良事例集を当センターHP([http://www.adrc.or.jp/publications/TDRM2005/TDRM\\_Good\\_Practices/Index.html](http://www.adrc.or.jp/publications/TDRM2005/TDRM_Good_Practices/Index.html))にて公開しておりますので、ご覧ください(英語のみ)。

当センターでは、今後とも、TDRMアプローチと防災優良事例の紹介を通して、アジア地域における災害リスクや脆弱性を軽減する方策を普及するとともに防災意識を啓発していくこととしております。

### ➤ 国連防災賞募集のお知らせ

国連の国際防災戦略(ISDR)事務局では、2005年国連防災賞の候補者を募集しています。国連防災賞とは、防災の分野で画期的な活動を展開し、大きな成果を成し遂げた専門家や組織を対象にした賞で、日本財団の支援により1986年から続けられています。締め切りは2005年7月29日。英語、フランス語およびスペイン語の応募要項と応募用紙はISDRのホームページ(<http://www.unisdr.org/>)からダウンロードできます。

If you have comments or requests for this Newsletter, please write to ADRC at the address on the right.

Published by : Asian Disaster Reduction Center (ADRC)  
Hitomiraikan 1-5-2-5F, WAKIHAMAKAIGAN-DORI, CHUO-KU, KOBE  
651-0073, JAPAN E-mail: editor@adrc.or.jp Phone:+81-78-262-5540